お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 手元スイッチを押す

(ブラシ入/切) を押す

床ブラシの回転部の回転を「入/切」するとき
- 床・たたみで静かにお掃除したいときは「切」にしてください。
- ゴミが取りにくい場合は「入」にしてください。

(ブラシ入/切) を押すごとに「入←→切」が切り替わります。

自動

(自動/マナー) を1回押す

「自動」でお掃除するとき
- ゴミのたまり具合に適した吸込力にコントロールします。
- DSP制御がはたらきます。

(自動/マナー) を押すごとに「自動←→マナー」が切り替わります。

(自動/マナー) を2回押す

「マナー」でお掃除するとき
- 静かにお掃除したいとき

手動

(強/弱) を1回押す

「強」でお掃除するとき
- じゅうたんなど強い吸込力が必要なときに
- DSP制御がはたらきます。

(強/弱) を押すごとに「強←→弱」が切り替わります。

(強/弱) を2回押す

「弱」でお掃除するとき
- カーテンなど吸い付いて操作がしにくいときのお掃除に
- すき間ノズルを使ったお掃除に

(切) を押す

運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると、「切」のときでも約2Wの電力を消費しています。

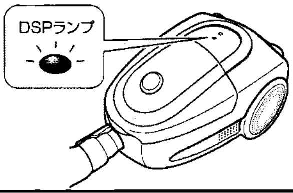
お知らせ
- 大きなゴミなどを急激に吸いつかせた場合、**操作を軽くするため吸込力を弱めます。**

お願い
- 大きなゴミを吸いつかせたまま**約3分間使用すると**、モーターの過熱を防ぐため、**運転が止まります**。このようなときは、ゴミを取りのぞき手元スイッチを押してください。再びご使用になれます。

DSP（Digital Signal Processor）制御について

- この掃除機はDSPヘッドの床面識別信号を自動検知し、床面の違いに応じて瞬時に床ブラシ回転部の回転数を最適に制御します。じゅうたんでは「自走効果」を、フローリング上では「磨き効果」を高めます。
- DSP制御は「自動」「強」の運転モードで動作します。

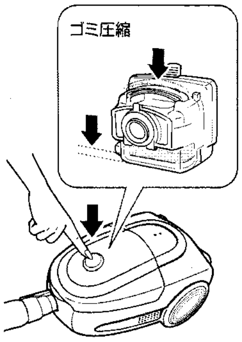
＊床面の種類によってはDSP制御が動作しない場合があります。



ゴミ圧縮ボタンの使いかた

お掃除の前にゴミ圧縮ボタンを押すと、ネットフィルター（リアー）に付着したゴミをかき落とし、ダストカップの中のゴミが圧縮され、目づまりが改善されます。

- フィルターお手入れサインの赤が点灯したら、運転を止め、ゴミ圧縮ボタンを数回押してください。
- ゴミ圧縮ボタンを数回押しても吸込力が弱い場合は、ダストカップ、ネットフィルター（フロント）のゴミを捨て、プリーツフィルターのちり落としを行ってください。

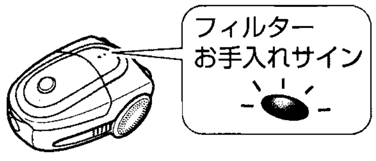


お願い
- **本体運転中はゴミ圧縮ボタンは押さないでください。圧縮板にゴミがつまる原因になります。**
- 延長コードを使用したり、他の家電製品と同一のコンセントでお使いになると、電源電圧の低下により、フィルターお手入れサインが早く点灯または点滅する場合があります。定格15A以上の単独コンセントでご使用ください。

フィルターお手入れサイン

フィルターのお手入れ時期を「フィルターお手入れサイン」が点灯、点滅でお知らせします。

- **点灯なし**：目づまりしていません。
- (赤点灯) **赤点灯**：目づまりしてきました。
- (赤点滅) **赤点滅**：目づまりしています。お手入れしてください。



お手入れ

ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき、プリーツフィルターのお手入れをしてください。
※お手入れの際には 切 を押して運転を止め電源プラグを抜き、ホースをはずしてください。

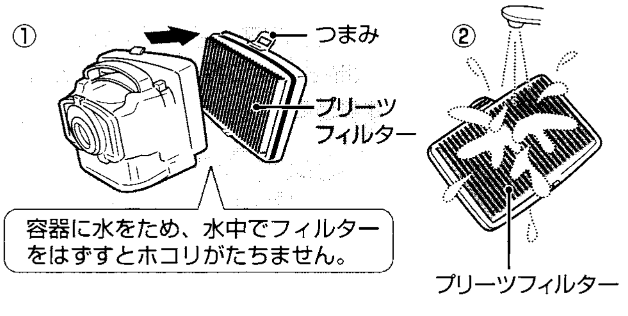
ダストカップ・フィルター

ダストカップ・プリーツフィルター

●本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。8 9ページ

1 プリーツフィルターをはずし、水洗いする

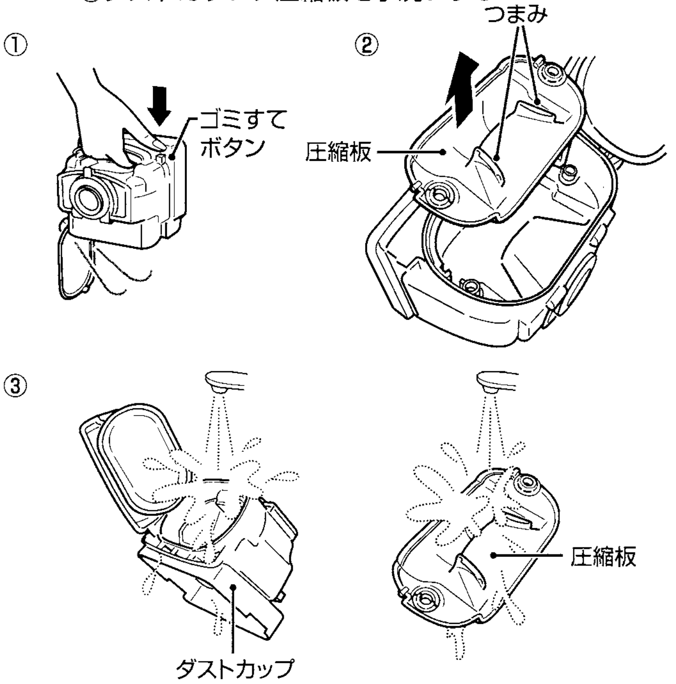
①つまみをもち、フィルターをはずす
②水洗いをする



●プリーツフィルターを広げながら洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

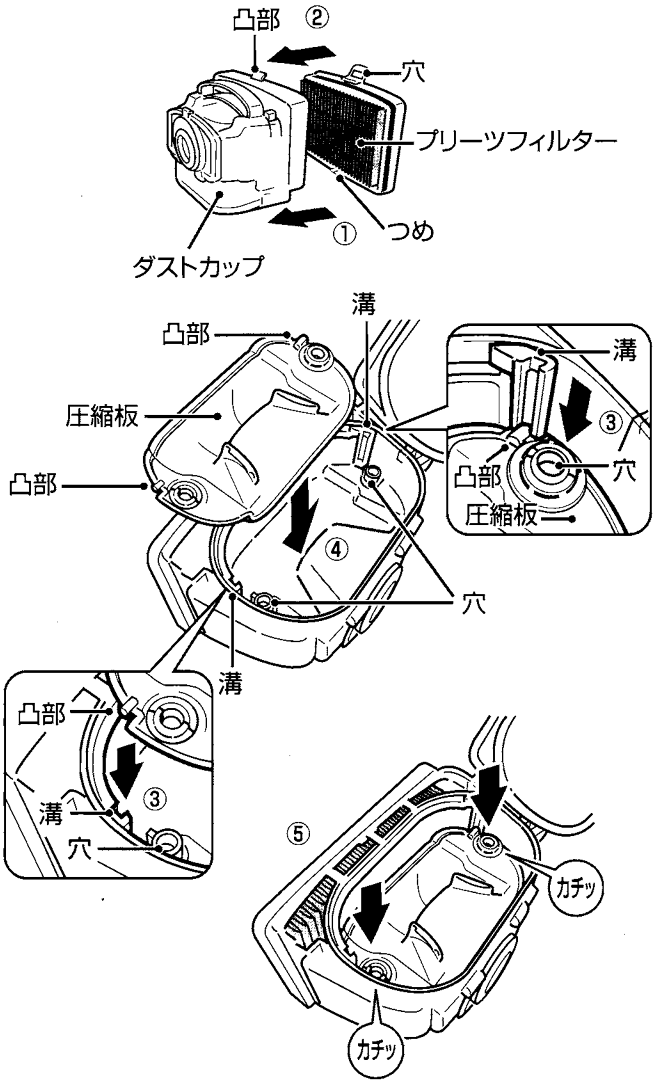
2 ダストカップ内の圧縮板をはずし、水洗いする

①ゴミすてボタンを押し、底面を開く
②圧縮板のつまみを持ち、上に引き上げてはずす
③ダストカップ、圧縮板を水洗いする



3 十分な乾燥を確認して、プリーツフィルター・圧縮板をセットする

①プリーツフィルターのつめをダストカップに引っかける
②ダストカップの凸部につまみの穴をはめ込みセットする
③圧縮板の凸部をダストカップの溝に合わせる
④ダストカップの溝にそって、圧縮板を下におろす
⑤圧縮板の左右の穴部を上から押し、カチッと音がするまでしっかりはめ込む



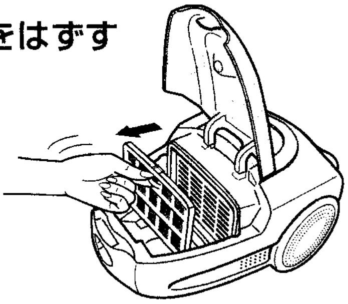
お願い
●吸込力を持続させるために、月に1度を目安にネットフィルター（リアー、フロント）とプリーツフィルターはお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）
●プリーツフィルターに付着したゴミが取れにくい場合は、古い歯ブラシ・綿棒などでお手入れしてください。
●フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
●圧縮板を強く押して洗わないでください。破損の原因になります。
●性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
●水洗い後、プリーツフィルター・ネットフィルターにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままでご使用になると故障の原因になります。

⚠警告

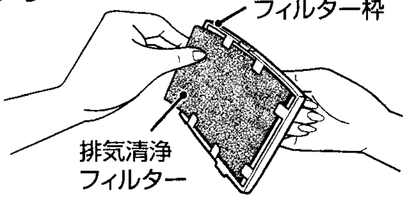
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（回転部、お手入れカバーを除く）・ワンタッチどこでもブラシは絶対に水洗いしない
感電・故障の原因になります。

排気清浄フィルター

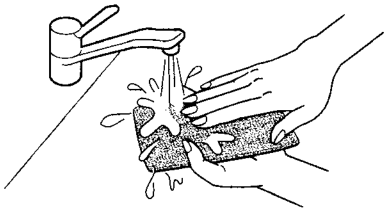
1 フィルター枠をはずす



2 フィルター枠から排気清浄フィルターをはずす



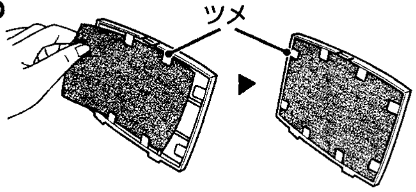
3 押し洗いをし、陰干しして十分に乾燥させる



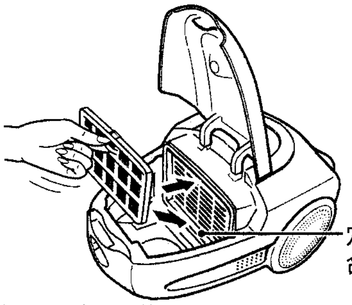
お願い

- 性能・品質を保証できませんので、洗剤・漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。

4 排気清浄フィルターをフィルター枠にはめる



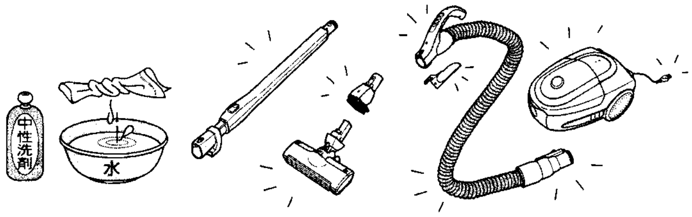
5 フィルター枠を本体にはめ込む



本体・付属品

本体や付属品が汚れたときは、水または中性洗剤をふくませた布でふく

- ベンジンなどでふくと、ひび割れ・変形・変色の原因になります。



ふとん用ブラシ

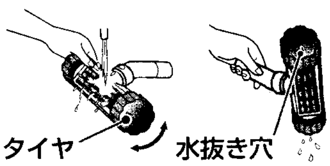
1 ゴミを取りのぞく

- たたき玉に髪の毛や糸くずなどがからんだときは、ピンセットなどで取りのぞいてください。



2 水で洗い、よく振って水をきり、陰干しにして十分に乾燥させる

- タイヤを左右に数回反転させ、回転部とタイヤ内部のゴミも荒い流してください。
- 水抜き穴を下に向けてよく振り、十分水をきってください。

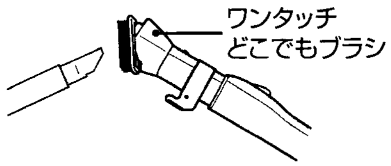


お願い

- ふとん用ブラシは、水以外のもので洗わないでください。
- ふとん用ブラシの回転部には注油しないでください。
- ふとん用ブラシのたたき玉を無理に引っ張らないでください。変形や故障の原因になります。

ワンタッチどこでもブラシ

すき間ノズルでブラシ毛についたゴミを取りのぞく



お願い

- ワンタッチどこでもブラシは水洗いしないでください。

（つづく）